

静岡県の 近代化 遺産

土地の記憶ともいえるべき建造物。
それらは近代和風や、西欧の
近代的手法により構築され
地域の近代化の歩みを現代に伝える
貴重な文化遺産です。

「旧エンバーソン邸」 (静岡市)



木のぬくもりを感じさせてくれる旧エンバーソン邸

静岡市に現存する数少ない明治時代の西洋建築物・旧エンバーソン邸は、日本平の池田山自然公園内にある。白い外装に茶色の窓枠や柱を配した木造二階建ての瀟洒な洋館だ。

キリスト教宣教師として日本に派遣されたロバート・エンバーソン氏が1904年、自邸として静岡市西草深町に建てた。当時、洋風のフェンスに囲まれた広い邸内には、テニスコートやキリスト教学生会の寄宿舎などが

併設されていたという。エンバーソン氏は1910年、故国カナダに帰ったが、邸宅は教会関係者に引き継がれた。

邸宅は1986年、静岡市に寄贈され翌年、日本平動物園の隣接地に移築、復元された。1998年に国の登録有形文化財に登録。開館は土日と祝日で、無料で入館できる。



MY SHIZUOKA

2004年1月 Vol.19

企画・発行／静岡県広報室

〒420-8601 静岡市追手町9-6

Tel.054-221-2233 Fax.054-254-4032

ホームページ <http://www.pref.shizuoka.jp/>

E-mail myshizuoka@hq.pref.shizuoka.jp

編集・制作／中日新聞社

2100

PRINTED WITH
SOYINK™

古紙配合率100%再生紙を使用し、大豆油インキを使用しています。

